

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関自動扉のリモコンを安全確保を優先して、壁に掛けてあるリモコンを外し、玄関横の職員控室にしている。(1ユニットのみ) 利用者が一人で玄関を出ても、チャイムで察知できるようにしている。(1ユニットのみ)	玄関自動ドアを利用者自身で自由に開閉できるようにする。 違和感なく外出できるようにする。	玄関自動ドアのリモコンを壁にかけておく。 玄関にしているセンサー式のチャイムを外す。	0.5ヶ月
2	6	どのようなことが身体拘束にあたるのか理解しているが、安全確保との両立ができていないことがある。	身体拘束を極力排除し、自由度の高い生活を送っていただくようにする。	行動の拘束が何をもちたらずのかを勉強し、安全確保のための方法をチャイムなどによる監視以外の方法がないか検討し実践する。研修や他施設との相互研修、会合などを利用し、多くの選択肢を試せるようにしていく。	6ヶ月
3	35	自施設のみ避難訓練を年2回行っている。	年に2回の火災避難訓練のうち、1回は消防署の協力のもと、行うようにする。	管轄の消防署に連絡をし、避難訓練時に来てもらい、より細かな避難訓練を行えるようにするとともに、消防署に対して、グループホームの存在を理解していただくようにする。	6ヶ月
4	11	外部研修や連絡会にいった者(管理者や計画作成者)の内容を職員に伝達研修する機会が少ない。	外部研修や連絡会で知り得た情報は、記録としてまとめ、職員に伝達し、知識をつけ、ケアの向上に努める。	外部研修や連絡会の後、その資料や記録を職員に回覧する。また、時間があるなら全体会議の場で直接伝えるようにする。	6ヶ月
5	10	利用者やご家族が意見、要望を管理者や職員にいう事はできるが、方法が直接口頭にて伝えるだけになっている。	より容易にご家族や利用者が意見を言えるようにしていきたい。匿名性を持って意見を言えるようにもしていきたい。	意見箱を各ユニットに設置し、匿名性を持って容易に要望や意見を言えるようにする。いただいた意見や要望は各種会議において取り上げ、運営に反映させていく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。